



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

5G通信

Vol.8

平昌五輪でみた5G

2月25日に閉幕した平昌五輪。スローガン“Passion. Connected.”のもと「つながり」をテーマとした今大会では、5Gによる「つながり」にも注目が集まりました。

平昌五輪では「5G」も活躍

- 約2週間にわたって開催された平昌五輪が、2月25日に閉幕しました。日本のメダル獲得数は冬季五輪史上最多となるなど、出場選手たちの白熱した戦いに我が国も大いに盛り上がりました。
- 大会期間中、開催地の平昌は「5Gビレッジ」と呼ばれ、5G(第5世代移動通信システム)を導入することで高性能の通信環境が整備されました。ここでは自動運転やVR(仮想現実)を用いた360度のライブ映像などを体験することができ、5Gを搭載した最新技術が披露されました。
- 導入に際しては、韓国の通信事業者のKT、スウェーデンの通信インフラ機器メーカーのエリクソン、米半導体大手のインテルなど、グローバル企業が一体となって技術を提供しました。世界的なイベントで注目を集めたことにより、5Gの認知度はますます向上しています。



白熱した五輪競技 (イメージ図)

注目を集めた5G活用技術

「コネクテッド・バス」

- 5Gを活用した自動運転の実例として、KTが提供した「コネクテッド・バス」が注目を浴びました。5Gを搭載した自動運転で開催地を安全に走行するだけでなく、車内でも窓の代わりに5G対応の大型スクリーンを設置し、大会のライブ映像を高画質で配信することで乗客を魅了しました。



自動運転 (イメージ図)

「有害動物対策システム」

- 平昌は山間部に位置することから、イノシシなどの動物が街に出没する機会が多いようです。イノシシは食べ物を求め、民家やレストラン、畑などに侵入し荒らしまわる有害動物であり、現時点では人の手による対策が行われています。
- そこで、5Gの活用がこの有害動物対策を大きく変えるとされています。5Gでネットワークに接続したカメラがイノシシを視界に捕らえるとシステムが自動的に作動、トラや犬の吠える声やサイレンなどを大音量で鳴らし、有害動物が迷惑行為をする前に一掃するというものです。このようなシステムは即時性が求められることから、「高速・大容量」、「超低遅延」を特徴に持つ5Gの活用が期待されます。



5Gを活用した有害動物対策システム (イメージ図)



【 ご留意事項 】

- 当資料はニューバーガー・バーマンの情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。